

Column コラム

豊橋市国際交流員のコラム



スティーブン・キャネル
Stephen Cannell

豊橋市国際交流員
Toyohashi City Coordinator for
International Relations

豊橋市の国際交流員スティーブン・キャネルさんがこのコーナーを担当します。

第3回 缶コーヒー

海外で日本の有名なものは何か。侍、アニメ、新幹線、寿司などはもちろんですが、もう一つ有名なのは自動販売機です。「日本ではこんなものも販売機で買える!」というのをよく見聞きします。確かに酒、電池、生魚、ネクタイまで、あらゆるものが自動販売機で販売されています。しかし私に最も影響を与えたのは缶コーヒーです。アメリカでもコーヒーを缶に入れることはもちろんあります。スターバックスも缶入りのコーヒーを出しています。ですが、日本の缶コーヒーはそういうのとは違います。多くの人に好かれている既存のコーヒーを便利なので缶に入れようということではなく、缶に入れてホットでもアイスでもなるべくおいしく、仕事のときでも休みのときでも飲みたくなるようにゼロから創り上げられているようです。もちろん値段が高くてはいけません。

最初にコーヒーを缶に入れることにしたのはなぜなのか理由が不明なようですが、日本は昔から缶コーヒー開発のパイオニアに間違いありません。日本の缶コーヒーの進化において、何よりも大事なものはミルクを入れることです。私も普段ブラックで飲んでいます。日本に来て缶コーヒーの素晴らしさのすべてを感じるためにはミルク入り缶コーヒーを飲むに限ります。カフェラテやカフェオレが単に缶に入っていると思わないでください。それとはまったく違います。缶コーヒーの味は缶コーヒー特殊のうまみがあります。ここで説明しようとしても伝わらないこともあり、おそらく今「なぜ缶コーヒーの記事を読んでいるのか。」と思っている読者の皆様はすでに味がわかっているからでしょう。

また、なぜ日本でそもそもこのように多くの自動販売機や缶コーヒーほどの便利さが必要なのでしょう。

仕事が忙しすぎて何秒かで買って何秒かで飲み切れるものではないといけないという考え方で開発されてきたのではないかと思います。ということで私のように「缶コーヒーが美味しいな」と思って飲むのではなく、「時間がないけど早くカフェインを飲まない」と思って飲む人も少なくない気がします。

私は子供のころコーヒーが好きではなかったです。苦くて変な色なので、なぜみんなが飲むのか理解できませんでした。しかしある日、輸入食品店でUCCミルクコーヒーを見ました。レトロな三色のデザインもあり私の好きな「ミルク」が入っていたので飲んでみたかったです。これはラーメンなど今の私が大好きな日本のものを知る前、おそらく最初に意識しつつ経験した日本のものでした。その缶コーヒーを飲んで大好きになったので、またその国際スーパーに行ったらほかの日本のものも食べてみたくなりました。ラムネやみそ汁など、色んな日本のものが大好きになりました。これがあったから日本人じゃなくても日本の缶コーヒーを飲むと懐かしみを感じて少し落ち着きます。些細なことですが、少しでも今、日本にいることとつながっているのではないかと思います。

なぜ日本に来たかと聞かれたらいつも大きな理由を挙げますが、これも少し紹介したかったことの一つです。何気ない子供のころの経験がこれほど大きく将来に影響するのだろうか、それとも人間は懐かしさが大好きなので、後で何もない話から何かを作り出そうとしているのでしょうか。皆様の場合は缶コーヒーが好きですか。それとも便利だから飲むだけでしょうか。

世界の出身者が月替わりで出演し、出身国についてお話す番組!!

とよはし・サ・ワールド

【放送日時】毎週火曜日 12:45~13:00
毎週土曜日 12:45~13:00(再放送)
【パーソナリティ】渡辺欣生

株式会社 エフエム豊橋 〒440-8543 豊橋市小堀町596番地 TEL.0532-75-9840

FUN MEDIA TOYOHASHI
FM 84.3MHz
スマホで聴こう! TEES-843FM
[URL] www.843fm.co.jp

うまいもんや
鯛松

Umaimonya TAIMATSU

40名様までご利用頂ける
宴会場もございます。
歓送迎会、慶事のお集まりに
ご利用下さい。

〒440-0881 豊橋市広小路2丁目24
TEL (0532) 52-8601

■営業時間 / 17:00~22:00 (L.O. 21:00)
■定休日 / (日・祝) 予約のみ営業